



福島中だより

令和7年度
福島中学校学校通信
8月29日(金)
第5号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)
【生徒会スローガン】日笑(にっしょう)

達成感を得るために

福島町立福島中学校長 助川 剛

30日間の夏休みが終わり、前期後半が始まっています。

夏休み中の様子を振り返ってみます。部活動で、吹奏楽コンクールと野球の全道中体連に福島中の生徒が出場しました。吹奏楽部、西部4町拠点校野球部ともに、練習の成果を十分に発揮したものとなりました。

吹奏楽部は、審査員の中にA評価をつける人がいるほどの素晴らしい演奏でした。

野球は、本校の選手が得点に絡む活躍をしました。活躍の様子はホームページや、玄関の写真で見ることができます。どちらも人数が少ない中、目標に向かって日々の練習を積み重ね、続けた結果です。チームや団体としては、1番ではなかったけれど、個人個人としては全道のレベルに達したことを証明できました。それだけのことができたことに自信を持ってほしいと思いました。日々の練習を積み重ね、苦しくても続けていくことが真の達成感を得ることができる唯一の方法であることを教えてくれました。



全校生徒へ夏休み前に2つの願いを話しました。

「無事に夏休みを過ごし8月25日に登校してくること。」は、事件事故の報告がないことから、願いが実現しました。本当に良かったです。大津波警報での避難、ヒグマ注意報が福島町に発令されていた中で、安全に過ごすことができていたのは、町を含む地域、保護者のおかげですし、生徒本人が注意して生活していたからです。これからも、自分の命、安全を守ることができる人であってほしいです。そして、経験と学習から他の人の安全も考えることができる人になってほしいです。

もう一つは「夏休みの課題をやり切る」ことでした。やりきれないことがあると、「中途半端だな」とか、「逃げてしまった」という気持ちをもって生活することになります。夏休みの課題だけではなく、「やるべきこと」は最後までやり抜くことを当然のこととできるようにしてほしいです。保護者の方も取り組みの様子を見て、声掛け、ご指導をお願いいたします。

前期後半9月26日には文化系の最大の発表会である芸術祭が開催されます。芸術祭は、その名の通り音楽や伝統芸能、ダンスなどの発表と授業作品の展示があります。また後期には職場体験学習、学習成果発表などもあります。大きな行事を自分や学級にとって「達成感」があるものにするために、自分たちが「やるべきことをやるべき時に」準備することで、当日に成果を発揮し、達成感を得ることができると生徒に話しました。

今年度の後半の生活、学習、芸術祭などの大きな行事などが生徒にとって達成感のある素晴らしいものにするため、教職員も共に教育活動に取り組んでいきます。地域、保護者の皆様これからも、本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。